

# 2020年度事業報告書

## I 公益財団法人京都市環境保全活動推進協会 法人概要

### 1 設立目的及び概況

#### (1) 設立目的

この法人は、持続性可能な社会、すなわち低炭素社会・循環型社会・自然共生社会を実現するため、市民・事業者・行政・教育機関と連携を強め、広く環境保全活動を推進することにより、環境に配慮した市民の自主的な行動による地域社会づくりに寄与することを目的とする。

#### (2) 概況

##### ア 設立年月日

2001年2月14日

##### イ 基本財産

金 52,363,000 円

##### ウ 実施事業

- (ア) 環境意識の普及，啓発に関する事業
- (イ) 環境情報の発信事業
- (ウ) 環境保全に関する調査，研究に関する事業
- (エ) 環境教育及び人材育成に関する事業
- (オ) 環境保全のための市民，事業者等との連携，支援に関する事業
- (カ) 環境意識の向上のための国際的な連携，支援に関する事業
- (キ) 環境保全活動に関する施設の管理運営
- (ク) その他，この法人の公益目的を達成するために必要な事業

### 2 役員等の状況（2021年3月31日現在）

#### (1) 役員等の数

理事長 1 人      専務理事 1 人      理事 7 人      監事 2 人      評議員 11 人

#### (2) 役員等名簿

##### ア 役員名簿

（敬称略・順不同）

役職	氏名	備考
理事長	高月 紘	京都大学名誉教授
副理事長	新川 達郎	同志社大学大学院総合政策科学研究科教授
専務理事	田中ひづる	公益財団法人京都市環境保全活動推進協会事務局長
理事	杵本 育生	特定非営利活動法人環境市民代表理事
〃	田浦 健朗	特定非営利活動法人気候ネットワーク事務局長
〃	橋本 直子	株式会社 Hibana 代表取締役
〃	花田真理子	大阪産業大学大学院人間環境学研究科教授

理 事	久山喜久雄	フィールドソサイエティ代表
〃	山中かおり	京都市環境政策局地球温暖化対策室担当部長
監 事	野村 克章	税理士
〃	水口 重忠	元京都市伏見区長

### イ 評議員名簿

(敬称略・順不同)

役 職	氏 名	備 考
評 議 員	浅利 美鈴	京都大学地球環境学堂准教授
〃	市川 智史	滋賀大学環境総合研究センター教授
〃	中田富士男	京都市ごみ減量推進会議委員長
〃	永橋 爲介	立命館大学産業社会学部教授
〃	長屋 博久	有限会社村田堂取締役
〃	原 強	京都循環経済研究所所長
〃	糸 善子	有限会社思風都代表取締役会長
〃	周 瑋生	立命館大学政策科学部教授
〃	田中 克	京都大学名誉教授
〃	安部 孝幸	株式会社京都銀行公務・地域連携部観光地域活性化室長
〃	南山 泰宏	京都教育大学環境教育実践センター教授

## 3 理事会・評議員会の開催状況

### (1) 理事会

	開催日	審 議 事 項	結果
第 34 回	2020年 5月27日	議第1号 基本財産の処分(振替)について(案) 議第2号 令和元年(2019年)度事業報告書(案) 議第3号 令和元年度決算報告書(案) 議第4号 「定時評議員会の日時及び場所並びに目的である 事項等」(案)	承認 承認 承認 承認
第 35 回	2020年 6月16日	<書面決議> 議第1号 代表理事1名選定の件 議第2号 副理事長選定の件 議第3号 専務理事1名選定の件 議第4号 事務局長1名委嘱の件	承認 承認 承認 承認
第 36 回	2020年 8月20日	<書面決議> 議第1号 理事の利益相反取引に係る承認の件	承認

第37回	2020年 8月20日	<書面決議> 議第1号 理事の利益相反取引に係る承認の件	承認
第38回	2020年 11月25日	報 告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について	
第39回	2021年 3月19日	議第1号 令和3年度事業計画書(案) 議第2号 令和3年度予算書(案) 議第3号 事務局設置規則の一部を改正する規則(案)の制定について 報 告 新中長期事業戦略(案)	承認 承認 承認

## (2) 評議員会

	開催日	審 議 事 項	結果
第13回	2020年 6月16日	議第1号 定款の変更(案) 議第2号 理事の選任(案) 議第3号 令和元年度決算報告書(案) 報第1号 2019年度事業報告書(報告)	承認 承認 承認

## 4 職員数 (2021年3月31日現在)

(単位：人)

理事	専務理事	事務局長	総務課				事業部									合計
			課長	事務職員	臨時職員	小計	部長	課長	課長補佐	事業職員	事務職員	研修職員	再雇用職員	臨時職員	小計	
1	1	(1)	1	3	1	5	1	3 (1)	2	18	1	5	0	6	36	43

※事務局長は、専務理事が事務取扱としている。また、事業課長のうち1名は、事業部長が事務取扱としている。事務取扱対象者は( )で表示している。

## II 2020年度実施事業内容（事業計画と主な実績）

（詳細を6ページ以降に記す。下線部は、2020年度事業計画書の記載を転記）

### I 公益目的事業

低炭素社会・循環型社会推進事業・自然共生社会推進事業

#### 【1】環境保全活動拠点事業

##### 1 京都市環境保全活動センター（京エコロジーセンター）指定管理業務

- 1111 環境の保全に関する活動のための施設の提供
- 1121 環境の保全に関する資料及び装置の展示
- 1131 環境の保全に関する情報の収集及び提供
- 1141 啓発冊子発行
- 1142 環境副読本発行
- 1143 広報誌の発行
- 1144 ホームページ等による情報発信
- 1145 各種講座や講演会の企画と実施
- 1146 各種団体との連携事業
- 1147 環境ボランティアの育成
- 1148 環境保全活動に関わる人材の育成
- 1149 海外との交流
- 1150 大学生の環境活動支援

##### 2 南部クリーンセンター第二工場環境学習施設管理運営業務

#### 【2】国際事業

- 1201 JICA 課題別研修「廃棄物管理能力向上」業務
- 1202 JICA 草の根事業「ASEANのモデルとなる低炭素社会実現に向けた人材育成とネットワーク拠点の機能強化プロジェクト」
- 1203 JICA 日系研修受け入れ業務
- 1204 JICA中国 日中友好環境保全センター「環境にやさしい社会構築プロジェクト」支援業務（研修受託業務・専門家派遣）
- 1205 その他国際事業（調査、案件形成等）

#### 【3】地域環境活動支援事業

- 1301 京都市「エコ学区」ステップアップ事業に係る学習会等支援業務
- 1302 京都市「市民協働発電制度地域コミュニティ版コーディネーター派遣業務」
- 1600 ごみ減量推進事業
- 1700 京のアジェンダ21フォーラム事業

#### 【4】講師派遣事業

- 1401 講師派遣・講座の企画実施（セミナー・研修・イベント等）

【5】 調査・研究・開発・発信事業

- 1501 これまで蓄積してきたノウハウのソーシャル・ビジネス化  
【プロモーション・ファンドレイジング】
- 1502 ESD-SDGs事業
- 1504 再エネ最大化アクション事業

II 収益事業

- 5101 施設の使用許可及び公金徴収事務

III その他事業（相互扶助等事業）

- 6101 秘密書類リサイクル事業

IV 附属明細書

## I 公益目的事業

### 【1】環境保全活動拠点事業（事業番号1111～1150）

#### 1 京エコロジーセンター（京都市環境保全活動センター）指定管理業務

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、臨時休館や開館時間の短縮を繰り返しながら事業を進めました。

令和2年3月から利用を休止している木のおもちゃひろばや図書コーナーのDVDコーナーについては、令和2年度も年間を通じて利用を休止する結果となりましたが、常設展示コーナーについては段階的に利用を再開し、年度の後半には来館者数や団体見学の数も増え、少しずつ館内ににぎやかな声に戻ってきました。

イベントはもちろん、ボランティアマネジメントに係る事業もオンラインをうまく使いながら事業を進めてきましたが、この1年間で得たノウハウは、今後も継続するであろうウィズコロナ社会で、環境学習や環境人材育成を続けるために生きてくると確信しています。

京エコロジーセンター指定管理業務について、4年間の指定管理期間の4年目として、以下の事業番号1111～1150の事業を行いました。

#### 1111 環境の保全に関する活動のための施設の提供

京都市の環境教育・学習の中核施設として、身近な生活や京都の特性を活かした環境教育・学習の促進を図り、魅力あるテーマ・内容のプログラムを提供します。団体見学においては、現行のPRチラシを更新し、より多くの学校や団体の来館につながるよう、広報を強化します。

<2020年度結果>

◇来館者数

	来館者数	昨年度比
第1四半期（4～6月）	4,447	20%
第2四半期（7～9月）	12,669	43%
第3四半期（10～12月）	12,291	54%
第4四半期（1～3月）	8,999	55%
第1～4四半期（4～3月）計	38,406	42%
平成14年度～令和2年度累計 (平均)	1,583,310名 (85,828名)	

※昨年度比は小数点以下四捨五入

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、4月8日～5月17日は臨時休館

5月18日～6月18日は、京都府民限定にて開館（開館時間は午前9時～午後5時）

6月19日～6月末までは京都府民に限定せず開館（開館時間は午前9時～午後5時）

※緊急事態宣言を受け、1月16日～2月28日まで開館時間は午前9時～午後5時

◇団体見学，エコ学習（京都市立小学校対象）受入数

（エコ学習は，新型コロナウイルスの影響で今年度は全て中止）

団体見学	団体数	人数	昨年度比（人数）
第1四半期（4～6月）	0	0	0%
第2四半期（7～9月）	6	133	16%
第3四半期（10～12月）	35	689	59%
第4四半期（1～3月）	2	100	29%
第1～4四半期（4～3月）計	43	922	29%

- ・ 新型コロナウイルスの影響により，学校や団体の見学受入は大幅に減少し（43件 922名），京都市立小学校を対象にしたエコ学習については，今年度は全て中止でした。前年度と比べて団体見学は71%（2,225名）減少し，申込が少ないうえ，感染拡大の影響でキャンセルになることもあり，予約後にキャンセルとなった団体見学も19団体（755名）ありました。
- ・ 団体見学を広く広報し，見学者数の増加を図るために，有料媒体への広報を1件行いました。また，旅行会社向けの団体見学紹介チラシと，小学校向けの環境学習プログラム紹介チラシのリニューアルを行いました。旅行会社向けのチラシは近畿圏の旅行会社251社へ送付しました。小学校向けのチラシについては新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ，次年度に送付を行うこととしました。
- ・ 「エコセン通い帳」は，4月8日から6月30日の期間は利用を休止しましたが，7月1日より新型コロナウイルスの感染対策をした上で再開しました。年間で延べ512名の参加があり，「エコの達人認定証」を10枚発行しました。
- ・ 来館者アンケートは，新型コロナウイルス感染拡大防止のため，6月よりアンケートボックスの数を減らして回収した結果，年間で25件（前年度430件）の回答となりました。

### 1121 環境の保全に関する資料及び装置の展示

京エコロジーセンターの常設展示の更新・補修を定期的に行うとともに，「2050年までに二酸化炭素排出量正味ゼロ」を目指すために必要な取組の紹介等，社会の情勢・状況に沿った企画展の開催を通じて，より多くの方に展示を通して環境保全活動について学ぶ機会を提供します。また，京エコロジーセンター主催の企画展のみならず，他団体との共同主催型企画展も積極的に実施していきます。あわせて，展示を補完し，案内活動を充実させるためのツールを整備します。

#### <2020年度結果>

- ・ 常設展示では，子ども向けにSDGsの各ゴールについての紹介と，京エコロジーセンター内の既存の展示とSDGsの関係を紹介する「SDGs紹介コーナー」を新たに設置しました。
- ・ 企画展示は，主催の企画展示6件（1件は協会主催），共同主催型企画展示3件の計9件を開催し，企画展関連イベントを3件開催しました。
- ・ エントランス貸出ツールBOX「ちきゅまるのはこ」のさらなる充実を図るため，新規で2つ作成しましたが，設置時期については今後の新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえて決定する予定です。

◇企画展示

	開催期間	タイトル (共催団体等)
1 ※	4月8日(水)～ 4月29日(水)	世界のこども環境絵画展 <b>【中止】</b>
2 ※	5月1日(金)～ 5月17日(日)	「整理収納アドバイザー」が伝えるお片づけからはじまるエコな暮らし (共催: ecoto 京都) <b>【中止】</b>
3	7月4日(土)～ 9月27日(日)	意識と行動展
4	8月11日(火)～ 8月21日(金)	農業・農村のいろいろな働き ～農業・農村の多面的機能の紹介～ (共催: 近畿農政局)
5	10月2日(金)～ 12月6日(日)	環境教育の環(わ) (共催: JICA 関西)
6	11月1日(日)～ 11月30日(月)	お家ではじめよう! 再生可能エネルギー100%展
7	11月13日(金)～ 12月16日(水)	2021年版 環境カレンダー 原画展 (協力: 日本環境保護国際交流会 (J. E. E.))
8	12月8日(火)～ 1月11日(月)	みやこ KAMADOKI 展 (主催: 京都・関西 SDGs ネットワークーみやこ KAMADOKI プログラムー実行委員会)
9	1月15日(金)～ 3月31日(水)	その服ってサステナブル? ～人と地球にやさしいオシャレとは～
10	2月1日(月)～ 2月28日(日)	美しい鴨川を子どもたちにのこそう (共催: 鴨川を美しくする会, 一般社団法人鴨川流域ネットワーク)
11	3月8日(水)～ 3月19日(金)	令和2年度「まちかど生きもの観察記」受賞作品の展示 (共催: 京都市環境政策局環境企画部環境管理課)

※新型コロナウイルスの影響で中止

◇企画展示関連イベント

開催日	タイトル	講師	参加人数
11月29日(日) 10:30～12:30	「環境教育の環(わ)」 <b>【リアルタイム配信】</b>	青年海外協力隊元隊員 ・田中 美佳 氏 (2015年度派遣: エルサルバドル)・城戸 大樹 氏 (2016年度派遣: 東ティモール)・田中 翔子 氏 (2016年度派遣: フィジー)	23
12月5日(土) 13:30～14:30	「ありがとう, 環境カレンダー ～30年の日々をめぐって～」 <b>【来館実施】</b>	・高月 紘 氏 (京エコロジーセンター館長, 環境マンガ家 ハイムーン)・細木 京子 氏 (日本環境保護国際交流会事務局責任者)	15



1月24日(日) 13:00~15:00	「エコ×ファッション～ あなたに知ってほしいフ ァッションのお話～」 【リアルタイム配信】	・成実弘至 氏(京都女子大学教授) ・水野泰平 氏(有限会社シサム工 房代表取締役)	30
-------------------------	--	--	----

◇木のおもちゃひろば, エントランス貸し出しツールBOX「ちきゅまるのはこ」利用数  
(木のおもちゃひろばは, 新型コロナウイルスの影響で2020年3月2日から休止中)

ちきゅまるのはこ	利用組数	利用者数	昨年度比(人数)
第1四半期(4~6月)	4	16	2%
第2四半期(7~9月)	26	62	8%
第3四半期(10~12月)	31	65	17%
第4四半期(2020年1~3月)	5	15	3%
第1~4四半期(4月~3月)計	66	158	6%

※新型コロナウイルスの影響で4月8日~8月18日の間利用を休止

※8月19日より, 受付ボランティアがいる時のみ, 除菌作業が簡易な物のみ等の条件つき  
で限定再開

### 1131 環境の保全に関する情報の収集及び提供

環境に関する資料を幅広く収集し, かんきょう図書コーナーにおいて閲覧に供すること  
で, 市民の環境意識の向上を図ります。また, かんきょう図書コーナーに関する情報発信  
を, ホームページ等を通じて行うことで, 利用の促進を図ります。

<2020年度結果>

- ・ かんきょう図書コーナーを通して, 市民に環境について関心を高める機会を提供しまし  
た。年間で貸出人数526名, 貸出冊数が1,831冊, 新規資料の追加が407冊でした。
- ・ かんきょう図書コーナーの周知を目的として, 除籍資料を譲渡するイベント「ほん・で・  
リング」を10月2日(金)から10月4日(日)に開催し(来場者96人, 譲渡231冊, 新規利  
用者カード登録数36人), 12月17日(木)には蔵書点検作業を実施しました。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため, DVD視聴ブースは2020年3月14日(土)から利  
用を休止しています。

### 1141 啓発冊子発行

より多くの市民, 事業者等に環境保全について理解してもらうため, 身近なテーマを取  
り上げ, 絵や写真, グラフ等を用いてわかりやすく説明した啓発冊子を年1回発行します。  
区役所や図書館等の市内各所への配架とともに, 冊子の認知度を高めるための広報活動  
を行います。

<2020年度結果>

- ・ 市民の環境意識を高めることを目的に啓発冊子を3月に7,000部発行しました。
- ・ 令和2年度は, 「2050年CO2排出量正味ゼロ」をテーマに, 「京都市地球温暖化対策条例

の改正」,「京都市地球温暖化対策計画〈2021-2030〉の策定」の紹介を行うとともに、温室効果ガス排出量を減らすために「私たちにできる選択」として、「ライフスタイル」,「ビジネス」,「エネルギー」,「モビリティ」の4つの分野の転換や、地球温暖化への適応策について記載しました。

#### 1142 環境副読本発行

地球温暖化をはじめ幅広く環境問題について学べる環境副読本（小学4年生用，5年生用，中学生用）を最新のデータで作成し，市内全ての小学校および中学校に配付します。また，学校現場での環境学習ツールとして活用できるよう，環境副読本を活用した授業指導案などの情報を発信します。

<2020年度結果>

- ・ 令和3年度版環境副読本小学4年生用，小学5年生用各15,000部，中学生用17,000部を印刷・製本し，京都市内の全小中学校に配布しました。環境副読本の活用を増やしてもらうため，各教科や総合的な学習の時間での環境副読本の活用方法の紹介と併せて配布しました。また，学校で活用されることから，京エコロジーセンターHPにて令和3年度版環境副読本のダウンロードデータを用意し，学習する際の補助教材として活用できるようにしています。
- ・ 京エコロジーセンターと青少年科学センター，さすてな京都との連携強化の一環として，環境副読本の誌面に青少年科学センターとさすてな京都の紹介記事を掲載しました。さらに，さすてな京都で行われている環境学習プログラムの参加者へ環境副読本（中学生版）を配布しました。

#### 1143 広報誌の発行

読者が家庭でエコな暮らしを意識・実践し，京エコロジーセンターへ来館するきっかけをつくるために，広報誌「えこせん」を年間で6回発行します。区役所や図書館，児童館，京都市動物園等，市内各所に配架するとともに，動画配信を含め，様々な媒体を通じて広報誌の情報を発信します。

<2020年度結果>

- ・ 広報誌「えこせん」を年6回，それぞれ5,500部発行し，京エコロジーセンター館内や市内各所に配架しました。広報誌のコンセプト「京のくらしと人とエコ」を意識した読みやすい誌面づくりを行い，家庭で取り組めるエコライフの紹介のほか，京エコロジーセンターのイベントや施設を紹介しました。

発行号	発行日	特集1	特集2
No. 67 (6月号)	6月5日	「ごみ拾い×パフォーマンスでまちにサプライズ」Mr. Kids氏 (S+Renjoy 代表)	ごみにしないためのもうひと工夫

No. 68 (8月号)	7月20日	「地域と育む居心地の良い暮らし」田村篤史氏（京都移住計画 代表）	地球にやさしい夏の涼み方
No. 69 (10月号)	9月18日	「木の魅力を見つめなおす」中山カズト氏（Let wood be）	木材利用のススメ
No. 70 (12月号)	11月20日	「人と大地にやさしいエコファーマー」壇 一郎氏（だん弥）	土づくり
No. 71 (2月号)	1月20日	「地域一丸となって取り組むエコ活動」朱雀第三学区	冬の省エネ術
No. 72 (4月号)	3月22日	「多角的な視点が地球を守るカギ」長谷川知子氏（立命館大学理工学部准教授）	持続可能な社会の実現

#### 1144 ホームページ等による情報発信

京エコロジーセンターのホームページやSNS等を活用し、京エコロジーセンターの情報を発信するだけでなく、他団体による環境保全活動や関連するイベントの情報発信を行う等、効果的な情報収集と発信を行い、より多くの市民に環境保全活動に関する情報が届くようにします。

<2020年度結果>

- ・ 隔月発行のイベント案内チラシを年6回、それぞれ4,400部配布し、京エコロジーセンター館内や市内各所に配架しました。その他、ホームページやメールマガジン、市民しんぶんやGoGo土曜塾などの外部のイベント情報媒体等を活用して情報発信を行いました。
- ・ 広報誌「えこせん」で連載中の環境にやさしい料理を紹介するコーナー「えこレシピ」の動画の利用促進に向けて、広報媒体を通じた発信を2件行いました。
- ・ 京エコロジーセンターホームページで他団体の情報発信として、33件のイベントを掲載しました。

#### ◇ブース出展

開催日	イベント名	主催者	場所	参加人数
9月7日	「日々是好日」 in ゼスト	(一社) ふろしき研究会, 京都市ごみ減量推進会議	ゼスト御池	124

#### 1145 各種講座や講演会の企画と実施

環境に配慮したライフスタイルを実践するきっかけをつくるために、市民が興味を持ちやすく、家庭や学校、職場、地域等での実践につながるような、身近な暮らしに関連したイベントや、「2050年までに二酸化炭素排出量正味ゼロ」を目指すために必要な取組や暮らし方の紹介等、社会情勢・状況に沿った内容のイベントをパートナーシップで企画・実施します。また、2020年度は継続的に参加することで学びを深められるような、複数回で構成されたイベントを企画・実施します。

<2020年度結果>

- ・ 親子から大人、環境に関心のある方まで幅広い層に向けて、楽しみながら暮らしの中でできるエコや持続可能な社会について学ぶことができる企画を実施しました。従来の大人数での対面によるイベント等が実施できない状況の中でもオンライン化を検討し、YouTube に動画をアップロードするオンデマンド配信、Zoom で配信を行うリアルタイム配信等、イベントの内容に合わせた方法で実施しました。また、連続して参加することで学びを深めるための連続イベントも1件実施しました。12月には、新型コロナウイルス感染拡大に伴い大型イベントの実施が不可能となったため、代替のイベントとして生物多様性をテーマにした「12月 月間イベント『学ぶ！つながる！生きもののススメ』」を開催しました。

開催日	タイトル	講師	備考
4月下旬	京エコロジーセンター18周年記念イベント（仮題）	未定	中止
5月10日	みつろうラップをつくろう	Biwabochi Beeswax Wrap	中止
5月16日	第1回 えこそらキッズ		中止
5月17日	お片づけでえーことはじめよか♪	ecoto 京都（共同主催）	中止
5月30日	第2回 えこそらキッズ		中止
6月13日	梅雨を楽しく過ごそう！エコ傘づくり	株式会社サエラ	延期
6月20日	第3回 えこそらキッズ		29
6月21日	映画「できるーせ・ポシブル」上映会		中止
6月下旬	都市鉱山でつくる！オリジナルシルバーペンダント	小島朗子氏（アートクレイ倶楽部）	中止
7月3日～ 8月23日	エコセンスタッフとやってみよう！新聞バッグづくり【オンデマンド配信】	京エコロジーセンター スタッフ	649 再生回数
7月22日～ 8月23日	エコセンスタッフとやってみよう！牛乳パックパズルづくり 【オンデマンド配信】	京エコロジーセンター スタッフ	404 再生回数
7月18日	第4回 えこそらキッズ		22
7月26日	映画「ワールドエンド!フィニーとノアの箱舟」上映会		中止
8月2日	いきもの探偵団	京エコロジーセンター スタッフ	29
8月5日	カレットアート体験	宝酒造株式会社	中止
8月5日～ 8月19日	親子で竹紙すきにチャレンジ！ 【オンデマンド配信】	京都竹カフェ （共同主催）	130

8月7日～ 8月21日	スプーンとフォークが合体！？スポークづくり～ごみになるものを減らして、自分のお気に入りを使おう！～ 【オンデマンド配信】	京エコロジーセンター スタッフ	60
8月8日	第5回 えこそらキッズ		27
8月10日	こどもクッキング教室～自分でつくるカンタンごはん～ 【リアルタイム配信】	京都こどもクッキング 管理栄養士	27
8月15日	読み聞かせとアートで学ぼう！はじめてのSDGs 【リアルタイム配信】	朝日仁美氏（絵本でSDGs 推進協会）、石橋幸子氏 （アトリエ・Petata）	36
8月23日	木っていいね！京都の木を使って工作しよう	前田清二氏（京都府森林 組合連合会綾部ストック ヤードコーディネータ ー）、井澤佑真氏（京都ペ レット町家ヒノコ）	71
8月29日	第6回 えこそらキッズ		20
9月6日	雲のみわけかた～雲を知って、お天気博士になろう～ 【リアルタイム配信】	日本気象予報士会関西支 部 楽しいお天気講座	34
9月12日	第7回 えこそらキッズ		29
9月26日	第8回 えこそらキッズ		30
9月27日	簡単リメイクをしてみよう～いらぬ服が子どものお気に入り到大変身！～	柴田禎人氏 （縫製工房 虹夢）	8
10月4日	みつろうラップをつくろう	Biwabochi Beeswax Wrap	23
10月17日	第9回 えこそらキッズ		16
10月25日	連続講座 昆虫食からみた地球温暖化①	内山昭一氏 （NPO 法人昆虫食普及ネッ トワーク理事長）	18
10月31日	第10回 えこそらキッズ		20
11月1日	野菜でハロウィンスイーツを作ろう！	川口かな江氏（料理教室 Kitchen Ciao!）	18
11月7日	使わなくなった布を使ってエコバッグをつくろう	京都市ごみ減量めぐるくん 推進友の会	47
11月8日	連続講座 昆虫食からみた地球温暖化②	株式会社昆虫食の entomo	18
11月15日	連続講座 昆虫食からみた地球温暖化③	株式会社昆虫食の entomo	19

11月21日	第11回 えこそらキッズ		23
11月23日	カカオ豆からチョコレートを作ろう	DariK 株式会社	18
11月28日	親子でせっけん作り～人と地球にやさしく過ごそう～	杉江香代子氏 (enSeisui 代表)	23
12月1日～ 12月27日	月間イベント「2021年生きものカレンダー作り」 【オンデマンド配信】	石橋幸子氏 (アトリエ Petata)	148 再生回数
12月5日～ 12月27日	月間イベント「大人の野鳥観察会」 【オンデマンド配信】	寺田綾乃氏 (日本野鳥の 会京都支部)	149 再生回数
12月5日	第12回 えこそらキッズ①		15
12月6日	月間イベント「2021年生きものカレンダー作り」	石橋幸子氏 (アトリエ Petata)	39
12月12日	第12回 えこそらキッズ②		12
12月13日	月間イベント「身近な食材で実験！魚のしくみを知ろう」 【リアルタイム配信】	ふなばし三番瀬環境学習館	39
12月20日	月間イベント「小さな生きものを見てみよう！砂の中から貝殻さがし」	公益社団法人大阪自然環境保全協会	97
12月27日	月間イベント「講演会「脅かされる植物」 【来館実施】 【リアルタイム配信】	中静透氏 (国立研究開発法人森林研究・整備機構理事長)	41 来館：11 配信：30
1月9日	第13回 えこそらキッズ		24
1月9日	簡単エコバッグ！あづま袋を作ろう 【来館実施】 【リアルタイム配信】	同志社えこずクラブ，京都市ごみ減量めぐるくん推進友の会	51 来館：15 配信：36
1月31日	講演会「脅かされる植物～地球温暖化の影響と生物多様性～」 【オンデマンド配信】	中静透氏 (国立研究開発法人森林研究・整備機構理事長)	231 再生回数
2月7日	講演会「地球温暖化の今」 【リアルタイム配信】	塩竈秀夫氏 (国立環境研究所地球環境研究センター気候変動リスク評価研究室室長)，田浦健朗氏 (気候ネットワーク事務局長)	38
3月13日	第14回 えこそらキッズ		27
3月28日	講演会「CO <sub>2</sub> 排出ゼロから見る再生可能エネルギーとは」	三宅成也氏 (みんな電力株式会社専務取締役)	7
3月28日	講演会「CO <sub>2</sub> 排出ゼロから見る再生可能エネルギーとは」 【リアルタイム配信】	三宅成也氏 (みんな電力株式会社専務取締役)	15

※えこそらキッズ 13 件（延べ 294 名参加）

※イベント 31 件（同企画イベントでも来館とオンライン、連続イベントで複数日程のものは、それぞれ実施件数としてカウントしている。）

（来館延べ 461 名，オンライン延べ 445 名，動画再生 1,581 回）

#### 1146 各種団体との連携事業

京エコロジーセンターの事業において、市民、NPO、事業者等とのパートナーシップを持ち、多様な環境保全活動の支援を強化します。また、各種団体とのパートナーシップによる事業の実績や成果をまとめ、発信します。

<2020年度結果>

- ・ 地域コミュニティや各種団体との連携事業として、中学校からの聞き取り調査の受入や、ブース出展などを行いました。
- ・ 12 月には京都木材青年経営者協議会が作成する京都の木材利用促進を目的とした「きょうとのスギの箱」木工キット 50 セットの配布協力を京エコロジーセンター館内にて実施しました。また、オンライン化に向けた環境団体の支援として、京都こどもクッキングが企画・運営し、京エコロジーセンターと共催でイベント『ガッテン流！「伝わる」極意』を 1 月に実施しました。

#### 1147 環境ボランティアの育成

来館者に対し館内の展示物や環境に配慮した設備を案内する環境ボランティア（エコメイト）を募集し、育成するとともに、すでに活動している環境ボランティアに向けては、ボランティアマネジメントや研修等を行います。あわせて、エコメイト 3 年目、及び京エコサポーターを対象に、京エコロジーセンターでの経験やそれぞれのスキルを活かせる館内外の場所や機会に関する情報を提供することで、京都市内の環境保全活動の活性化を目指します。

<2020年度結果>

- ・ 事務局全体でボランティアのコーディネートを行うとともに、ボランティア全体の活動意欲を高める場（マネジメントの会）を年間 7 回実施しました。また、環境問題に関する最新情報を収集し、ボランティア活動へ活かす研修（ボランティア研修）を、年間 8 回実施しました。
- ・ エコメイト養成講座全 6 回を実施しました。京都府に発令された緊急事態宣言を受け、第 2 回～第 5 回の講座はオンラインでの実施となり、実習は中止となりましたが、受講者一人一人と個別にお話を聞く機会を設けました。講座申込者は 20 名、内修了者は 19 名で、全修了者がエコメイト 21 期に登録しました。

◇マネジメントの会（ボランティア全体の活動意欲を高める場）

開催日	タイトル	対象	参加人数
4 月 5 日	登録証授与式	エコメイト 京エコサポーター	9

5月23日	グループ代表者会議	エコメイト 京エコサポーター	9
7月5日	スタートアップの会	エコメイト	17 (来館9, リアルタイム配信8)
9月13日	エコメイト交流会	エコメイト	13 (来館10, リアルタイム配信3)
12月19日	ボランティア 全体ミーティング	エコメイト 京エコサポーター	26 (来館23, リアルタイム配信3)
3月21日	年間ふりかえりの会	エコメイト	16 (来館8, リアルタイム配信8)
3月21日	修了証授与式	エコメイト18期	9

◇ボランティア研修

開催日	タイトル	参加人数
6月6日	ボランティア研修①「エコセンの設備を知ろう」	動画配信
7月11日	ボランティア研修②「館内案内ツール」	動画配信
8月30日	ボランティア研修③「水」	27 (来館20, リアルタイム配信7)
9月27日	ボランティア研修④「ごみ」	34 (来館27, リアルタイム配信7)
10月24日	ボランティア研修⑤「電気」	32 (来館27, リアルタイム配信5)
11月14日	ボランティア研修⑥「木」	29 (来館24, リアルタイム配信5)
12月13日	ボランティア研修⑦「海洋プラスチック」	32 (来館24, リアルタイム配信8)
2021年 1月16日	ボランティア研修⑧「地球温暖化」	21 (リアルタイム配信)

◇ボランティアによる自主企画イベント

開催日	タイトル	実施グループ	ボランティア スタッフ人数	参加 人数
8月16日 8月20日	私たちのくらしとプラスチックごみ～使い捨てプラスチックを減らし地球を守ろう！～	登録グループ「イベントグループ」	7	29
8月22日	うちごみ相談所	ワーキンググループ 「うちごみ相談所」	7	15
2月14日	ライトの光で動く！クワガタサッカーゲームに挑戦！	登録グループ「エコエネクラブ」	中止	中止
2月21日	楽しく学んで地球温だん化を	登録グループ「イベ	中止	中止



	ふせごう！	ントグループ」		
--	-------	---------	--	--

※ 新型コロナウイルスの影響で中止

◇ボランティアによる自主企画展示

開催期間	タイトル	実施グループ名	ボランティア スタッフ人数
10月27日～ 11月28日	ボランティア推薦図書特別展示読書週間 POP展	登録グループ 「図書グループ」	7

◇エコメイト養成講座

	開催日	タイトル	参加人数
第1回	1月10日	エコセン・ボランティアきほんのき【来館実施】 【リアルタイム配信】	13 3
第2回	1月17日	環境問題・環境学習きほんのき【リアルタイム配信】	14
第3回	1月23日	展示・コミュニケーションきほんのき 【リアルタイム配信】	17
第4回	1月30日	環境学習プログラムきほんのき【リアルタイム配信】	16
第5回	2月10日	実習オリエンテーション【リアルタイム配信】	9
第6回	2月13日	実習オリエンテーション【リアルタイム配信】	8
第7回	2月15日 ～3月6日	個人面談【リアルタイム配信】	14
第8回	3月7日	これまでの講座のふりかえり&登録説明会 【来館実施】 【リアルタイム配信】	12 2

### 1148 環境保全活動に関わる人材の育成

市民を対象とした、地域や市民活動のリーダーとして環境保全活動を担う人材育成を目指し、必要な専門性を獲得できるような講座を実施します。また、京エコロジーセンターの環境ボランティア修了生による地域等での環境保全活動の取組について取材を行い、その取組をわかりやすく発信します。

<2020年度結果>

- ・ 年間を通じてエコメイト修了生を対象に、地域の活動に役立てられるような情報、エコ学区事業のブース出展や学習会についてのスケジュール等の情報提供を行いました。
- ・ 連続講座として、自然エネルギーに関心がある方や自然エネルギーで地域づくりを行いたい方等を対象に「自然エネルギー学校・京都 2020」を6月から9月の期間でオンラインで実施しました。
- ・ 環境保全活動を推進するために、地域等で活躍できる人材を養成することを目的とした「環境活動パワーアップ講座 2020」を実施しました。

◇自然エネルギー学校・京都 2020「自然エネルギー100%社会のビジョンを描こう！」

【リアルタイム配信】

	開催日	タイトル	参加人数
第1回	6月27日	自然エネルギー100%を目指す世界の動向	22
第2回	7月11日	企業でできる?! 自然エネルギー100%	19
第3回	8月1日	自宅でできる?! 自然エネルギー100%	18
第4回	9月12日	地域でできる?! 自然エネルギー100%	17
第5回	9月26日	自然エネルギー100%を目指す地域のオンライン視察	17

◇環境活動パワーアップ講座 2020【来館実施】

	開催日	タイトル	参加人数
第1回	10月10日	私(達)は、何を問題だと思ひ、どのように変えたのかじっくり考え伝えてみよう	8
第2回	10月18日	仲間と一緒に思いをカタチにする力をつけよう	7
第3回	11月7日	私(達)はどんな力があるのか 様々なつながりを考えてネットワークを広げよう	7
第4回	11月28日	活動を企画する力を高める いろいろな立場の人と協働しよう	5
第5回	12月12日	私(達)はこれから何をするのか。考え、伝え、多くの人にも呼びかけよう	3
	12月13日		5

### 1149 海外との交流

京エコロジーセンターにおいて、国内外との連携・交流につながるような国際的な取組の推進を行います。具体的には、国際的な環境保全活動の取組に関する企画展を日英の2言語で実施するとともに、その関連イベントを企画・実施する他、海外での環境保全活動や環境教育に関する事例や情報を収集・整理し、図書コーナー等を活用して発信します。また、これらの取組を京エコロジーセンターの広報媒体において英語で発信します。

#### <2020年度結果>

- ・ 引き続きかんきょう図書コーナーにおいて、日本語を母国語としない来館者にも図書コーナーでの時間を充実したものとすることを目的に、地球温暖化や環境教育等の資料を提供しました。令和2年度は、企画展のテーマに関連した図書や幼児向けの絵本などを追加で配架しました。
- ・ 国内外に向けた情報発信として、緊急事態宣言に伴う休館のお知らせや、新しい海外図書の紹介、企画展の紹介、オンラインで行ったインタビューの様子などをホームページやFacebookを通じて日本語及び英語で計8件発信しました。

### 1150 大学生の環境活動支援

大学生の環境活動を支援するため、インターンシップ受入や研究活動への協力等を継続して行います。また、過去のインターンシップ参加者や大学生ボランティアの現状調査を行い、京エコロジーセンターでの経験がどのように活用されているか情報収集し、今後の大学生向けの環境活動支援メニュー開発に活用します。あわせて、1502 E S D - S D G s 事業との連動も意識しながら、大学生が集まってそれぞれの活動内容の共有や意見交換を行う機会を設けます。

<2020年度結果>

- ・ 9月から11月までみやこKAMADOKIプログラム SDGs Actsのエコロジーコースとして大学生3名、高校生1名を受け入れ、脱炭素社会実現に向けた大学生対象のイベントの企画提案を行いました。その後2名はインターン生として引き続きエコセンで活動し、10月から受け入れた大学生を含め計3名が活動を行いました。それぞれが自らの興味関心のあるテーマについてイベントを企画・実施できるよう、活動支援を行いました。
- ・ みやこ KAMADOKI プログラム SDGs Acts のエコロジーコースに参加していた高校生から依頼があり、インターン生による学びを提供する場として、1月から3月にオンラインで、SDGsについて考えるワークショップ「エコセンゼミ」を実施しました。
- ・ 2月には、環境活動をしている団体に所属する大学生が集い、活動の共有や意見交換を行う「みやこ学生エコサミット」を実施し、4つの学生団体が参加しました。

◇インターン生企画イベント

開催日	タイトル	講師	参加人数
3月6日	簡単おしゃれに竹パウダーコンポ スト作り 【リアルタイム配信】	木下有日子氏（ひと・杜・暮 らし あまがえる）	17
3月7日	えねるぎいから四方よし！ 【リアルタイム配信】	竹本了悟氏（TERA Energy 株 式会社）	9
3月27日	Let' s きらきら～ごみから生まれ る、千年宝物づくり～【来館実施】	山崎姫菜子氏，和田佑梨香氏 (sobolon)	10

## 2 南部クリーンセンター第二工場環境学習施設管理運営業務

### 2101 南部クリーンセンター環境学習施設管理運営業務

南部クリーンセンター第二工場に設置された、世界最先端の環境技術等が楽しく学べる環境学習拠点「さすてな京都」において、子どもから大人まで幅広い年代に対し、施設見学や学習プログラムなどを実施します。4年契約の2年目として、小学校4年生の社会見学受入対応や、シャトルバスによる3施設の利用促進等、施設の安定運用を目指します。

<2020年度結果>

◇施設利用者数実績

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、4月8日から5月18日の間は臨時休館

5月18日から6月18日の間は、京都府民限定にて開館（開館時間は午前9時～午後5時）、  
6月19日から6月末までは京都府民に限定せず開館（開館時間は午前9時～午後5時）

■来館者数 10,318人

■利用者数（YouTube動画視聴数延べ） 2,341人

（参考①）令和3年度からの来館者数目標は「20,000人」

（参考②）団体ツアーのキャンセルによる人数は「約8,000人」

■団体ツアー回数、及び参加者数 96組 965人

（参考）小学校社会科見学は年度内全中止、エコバスツアーの定員制限「20名（通常時の約半分）」

■子ども学習プログラム実施回数及び参加者数

95回1,493人（内訳：大人659人、子ども810人）

臨時休館等、コロナ禍による中止回数は41回（うち、3回分をYouTube配信とした。）

■生涯学習講座実施回数及び参加者数

16回249人（内訳：大人239人、子ども10人）

新型コロナウイルス感染症の影響により講座1回を「YouTube配信」とした。

- ・ 4月から6月の小学4年生社会科見学受入を準備し、約90校の予約がありましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休館及び校外学習全てが中止となりました。学校現場より代替案として動画での学習コンテンツを求められ、京都市教育委員会を通じて提供しました。
- ・ 再開館後の6月からは団体ツアーや学習プログラムを再開しました。土日祝のシャトルバスが、竹田駅・青少年科学センター・エコセン経由で運行し、伏見区環境学習拠点3施設の連携が始まりました。
- ・ 10月31日の開館記念イベント「さすてな☆秋のエコまつり」、11月から1月まで実施予定の3施設連携企画や、3月には「さすてな☆春のSDGsウィーク」を開催しました。

## 【2】国際事業（事業番号1201～1205）

### 1201 JICA 課題別研修「廃棄物管理能力向上」業務

廃棄物管理に関わる行政職員を主な対象とし、廃棄物管理や政策に関する講義や視察を行うだけでなく、市民参画による廃棄物減量や分別への協力をどのように得るのかという視点で約2ヵ月にわたる訪日研修を企画・実施します。また、本研修で学んだことを活かし、参加した研修員がそれぞれの立場で実現可能なアクションプランを作成することを支援し、その実行にかかるフォローアップを行います。

<2020年度結果>

- ・ 新型コロナウイルスの影響により研修開始が後ろ倒しとなりました。また、遠隔研修（研修期間：2021年3月1日から9月30日まで）と本邦研修（研修期間：2021年10月25日から12月4日まで）に分けて実施することとなり、年度をまたいでブラジルから3名、モザンビークから2名、合計5名の研修員を受入れています。

- ・ 遠隔研修では、日本の廃棄物管理やその歴史、京都市の取組などについて動画教材で学ぶオンデマンド形式で実施しました。また、メールやGoogle Workspace上に設定したチャット機能を活用し、必要に応じてフォローアップを行いました。

## 1202 JICA 草の根事業 マレーシア国「ASEANのモデルとなる低炭素社会実現に向けた人材育成とネットワーク拠点の機能強化プロジェクト」

2016年2月から2018年12月の約3ヶ年で実施した、「イスカンダル・マレーシアにおける低炭素社会実現に向けた人・コミュニティづくりプロジェクト」の第2フェーズとして採択の内定を得た本プロジェクトを2020年度秋頃から開始できるよう、現地での合意書の締結やJICAとの契約交渉を進めます。プロジェクト開始後は、マレーシア国ジョホール・バル市において、京エコロジーセンターをモデルとした環境教育・環境保全活動の拠点施設の設立支援及びその機能強化にかかる協力を行います。

### <2020年度結果>

- ・ マレーシアにおけるプロジェクトの第2フェーズとなる「ASEANのモデルとなる低炭素社会実現に向けた人材育成とネットワーク拠点の機能強化プロジェクト」の実施に向けて、現地ステークホルダーと協力覚書（MoC）※の締結に向けて調整しました。
- ・ 新型コロナウイルスの影響によりマレーシアへの渡航ができないため、プロジェクトの契約手続きに時間を要しました。メールやオンラインでの会議によって現地ステークホルダーとの調整を進めた結果、2021年度中にプロジェクトを開始することとなりました。
  - ※ 2019年度調整中であった「合意文書（ミニッツ）」は、関係者との協議により、「協力覚書（MoC）」とすることになりました。

## 1203 JICA 日系研修受け入れ業務

中南米の日系研修員を対象とした約1ヵ月間のJICA日系研修「環境教育リーダー養成研修（都市型環境教育）」コースを企画・実施します。OJT形式で協会の業務を行うことを通じ、環境教育プログラムの企画・実施方法や市民参画での環境教育・環境保全活動の推進のための視点を学び、帰国後それぞれの立場で活躍できる環境教育リーダーの育成を行います。研修実施後は、その成果を整理し、発信します。（JICAを通じて公募がかかり、参加者の応募があった場合のみ実施されることとなります。）

### <2020年度結果>

- ・ 1月11日から3月1日の期間で1名の日系ブラジル人研修員を受入れました。新型コロナウイルスの影響により、今年度は訪日研修を取り止め、オンラインによる遠隔研修として実施しました。具体的には、オリエンテーションと最終報告会についてZoomを使用した対面形式で行い、日ごろの研修については動画教材を視聴して学ぶオンデマンド形式で行いました。また、質疑応答については随時メールなどを用いて対応しました。最終成果報告会では、川に流れ着くごみの滞留量を減らすために、3Rや分別回収の重要性を説くプログラムが提案されました。
- ・ 来年度の日系研修についてはJICAへ研修内容の提案を行い、採択を受けました。（実施は来年度参加者募集を行い、応募者及び合格者がいた場合のみとなります。）

1204 JICA中国 日中友好環境保全センター「環境にやさしい社会構築プロジェクト」  
支援業務（研修受託業務・専門家派遣）

中国で実施されている本プロジェクトにおいて、先方の要望に応じ、情報や意見の交換、訪日研修の受入や短期専門家派遣を行います。これらを通じて、中国での環境学習施設の運営や環境教育の推進を図るための取組及び仕組づくりに、継続して協力を行います。

<2020年度結果>

- ・ 渡航制限もあり、特に研修の受入や専門家派遣はありませんでした。2020年度をもって本プロジェクトは終了となりましたが、来年度以降も日中友好環境保全センター及び同センター内の環境情報プラザと情報や意見の交換を継続して行う予定です。

1205 その他 国際事業（調査、案件形成等）

環境教育、環境学習施設運営、市民参画を通じた国際協力の研修・事業についてのリサーチを随時行い、新たな案件形成につなげます。

<2020年度結果>

- ・ 上海の団体 D-camp より中国の教育関係者を対象とした研修のコーディネート及び実施依頼がありましたが、新型コロナウイルスの影響により、無期延期となりました。

【3】地域環境活動支援事業

1301 「エコ学区」ステップアップ事業に係る学習会等支援業務

京都市内で地域活動の中心的な役割を担っている「学区」に対して、地域性を活かした学区独自のエコ活動、地球温暖化の現状と対策をはじめとする環境保全に関する知識を提供する学習会、省エネ体験会の開催等、地域の意欲に応じた支援業務を実施することで、地域ぐるみのエコ活動を推進します。(市内全222学区対象)

<2020年度結果>

- ・ 京エコロジーセンターに「エコ学区サポートセンター」を開設し（平日9時～17時）、地域ぐるみのエコ活動についてのワンストップサービスの相談窓口として対応しました。エコ学区として宣言した222学区に対し、学習会などの実施等を通じて、地域ぐるみのエコ活動を促進しました。
- ・ 年間で計1,200回を超える学区へのヒアリングやエコ活動の現場取材、地域へ直接アプローチを行うなど、ニーズに合わせ迅速に対応しました。

京エコライフプログラム 実施学区：安朱・御室・乾隆	学区が小学校と連携して行う、地域性を活かしたエコ活動を通じて、小学生などの家庭やPTAに広がるように努めました。
エコ学区ステップアッププログラム 実施学区：上高野・久我の杜・新林・中立	地産地消や、エコ×防災など、地域課題に絡めたエコ活動への準備を行いました。

学習会（18 学区実施）	様々なテーマで実施し、490 名（大人 454 名・子ども 36 名）が参加しました。
環境啓発ブース出展及びブース型学習会（25 学区実施）	様々なテーマで実施し、533 名（大人 221 名・子ども 312 名）が参加しました。
エコ学区担い手セミナーの開催（3 回実施）	地域のエコ活動の担い手を育成することを目的に開催し、のべ45名が参加しました。

### 1302 市民協働発電制度地域コミュニティ版再生可能エネルギー導入支援業務

京都市では、地域のコミュニティ組織が主体となった再生可能エネルギー利用設備の普及拡大を図ることを目指しており、地域住民の合意形成のほか、当該地域における再生可能エネルギーによる発電事業に関する調査や事業化を検討するコーディネーターや専門家の派遣業務を行います。

<2020年度結果>

- ・ コーディネーターを計 13 回、再生可能エネルギー専門家を計 6 回、4 地域に派遣し支援を行いました。（安朱学区・小野郷学区・桂坂学区・新林学区）

### 1600 ごみ減量推進事業

市民、市民団体、事業者、事業者団体、ごみ問題の専門家、京都市などが対等の立場で参画し、お互いの立場を理解しながら、自発性とパートナーシップを基本として、ごみ減量に関する意識の高揚化を図るとともに、地域でのごみ減量に関する自主的な取組を促進することにより、京都市のごみを減らし、環境を大切にしまちと暮らしの実現に寄与するために、以下の事業を実施します。

#### ア 普及啓発

- ・ パンフレット、ホームページ等を活用し、効果的な広報を行います。
- ・ ごみ減量につながるライフスタイルへの転換のヒントや各団体の活動報告等を掲載した情報誌「ごごみ日和」を発行します。
- ・ 全市的イベント等において啓発ブース（パネル展示、アンケート、クイズ、工作教室等）を出展します。
- ・ 市民向け、親子・子ども向け、企業向けのごみ減量講座やワークショップ等を行います。

<2020年度結果>

- ・ メーリングリストによる情報発信を 43 回実施し、オンデマンド配信講座等の情報発信を機動的に行いました。メール登録数も 651 件に増加しました。（前年度末 573 件）
- ・ 情報誌「ごごみ日和」（年 4 回・各 3,000 部発行）では、表紙イラスト、取材執筆等で大学生の意見を反映することにより、より手に取りやすく読みやすい紙面へシフトしました。
- ・ レジ袋有料化の機会を捉え、小売店等でのレジ袋削減の呼びかけや、あづま袋づくりのワークショップを実施しました。京都市ごみ減量めぐるくん推進友の会との協働に加

え、同志社えこずクラブ(同志社大学小谷ゼミ)の協力を得て動画やポスターを制作し、SNSでの発信やオンラインイベントに出展し、約900名の方にアプローチできました。(昨年度約2,300名)

- ・ 講座事業では、オンラインを併用し、企業向け(3回615名)、こども向け(4回174名)、イベント(1回222名)と、市民向け(13回746名)を実施しました。
- ・ 市民向け講座では、ふろしき研究会との共催でスーパー・コンビニ店頭でのふろしきエコバッグ体験ブースの出展と、家庭で手軽に始められる生ごみコンポストの2事業を実施し、市民が具体的に行動に移せる体験型の啓発が好評でした。

## イ ごみ減量事業化

- ・ 市立小中学校児童生徒が回収した学校給食用牛乳パックを、トイレトペーパー「めぐレット」にリサイクルします。
- ・ 家庭に眠っている不用品の再使用(リユース)を目的として、「いらなくなったらいる人へ」をテーマにフリーマーケットを開催します。
- ・ ごみ減量・リサイクルに関する取組など、循環型社会の実現に資する事業に対して助成を行います。(先進的モデル事業：上限1,000千円、地域活動事業：上限500千円)

### <2020年度結果>

- ・ 教育委員会との連携により、市内小・中学校の献立表にごみ減量にかかる啓発記事を掲載しました。(2021年2月)
- ・ 岡崎公園でのフリーマーケットは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年間を通して中止になりましたが、この間も出店経験者や参加者からの問い合わせが多く、フリーマーケットに対する市民の方々の期待を感じることができました。
- ・ ごみ減量モデル事業(助成金事業)は、新型コロナウイルスの影響を受けながらも、採択団体は概ね計画通りの事業を実施しました。また、採択団体間の連携や、当運営委員会事業との連携などを進めることができました。

## ウ 地域活動

- ・ 小学校区(元学区を含む)を基本単位として、地域住民により組織される地域ごみ減量推進会議の活動を支援します。
- ・ 地域ごみ減量推進会議及び京都市ごみ減量めぐるくん推進友の会会員の意識向上を目的に、環境関連施設等への見学会を実施します。

### <2020年度結果>

- ・ 新規立ち上げが1件、退会が1件あり、全体の設置数は205団体となっています。
- ・ 各区代表者会議(意見交換会)を11月10日(火)に実施しました。
- ・ 普及啓発の市民向け講座「生ごみコンポスト」事業に7団体が参加しました。
- ・ 施設見学会や宇治茶ムリエ講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になりました。

## エ 2R型エコタウン構築事業

- ・ 2R型ライフスタイルを広めるための人づくり事業を実施します。



- ・ 2 Rの考え方や施策，モデルとなる行動様式等を発信します。
- ・ 主に日用品等の修理等を行う店舗を紹介し，その利用及び家庭ごみの減量を図ります。

<2020年度結果>

- ・ 2 R人づくり事業では，ウェブサイトでの発信に力点を置き，プラスチックごみや食品ロスに関する図表集のほか，プレゼンテーションやファシリテーション等のスキル系情報の動画を公開しました。
- ・ 2 R文化発信事業では，コロナ共生社会のライフスタイルとして，プラスチックごみや観光ごみなどをターゲットに，6名の有識者へのインタビューを実施し，動画やテキストで公開しました。また，5年目となる大学生向けの講義も，ほぼオンライン録画での講義を実施できました。
- ・ 2 Rサービス紹介事業では，ウェブサイトの「もっぺん」の運営を行ったほか，ウェブサイトからのアクセスが難しい方向けに平成 29 年度から行ってきた紙版マップについて，全行政区分が完成しました。

### 1700 京のアジェンダ 21 フォーラム事業

市民，事業者，行政が協働して，京のアジェンダ 21 に示された取組の具体化及び行動への誘導，並びにその評価及び充実を図り，もって環境と共生する持続型社会を実現するために，以下の事業を実施します。

#### ア 京都におけるSDGsに関する取組の推進（1701）※自主事業

- ・ 京都における持続可能な社会づくりを進めるため，国連で採択されたSDGsに関する情報提供を行うとともに，多様な主体が取組を推進できるような仕組みづくりについて調査研究を行い，各方面へ提案します。
- ・ 京都市地球温暖化対策条例の見直し及び同次期計画の策定に関して，その実現に向けて多様な主体の実践を促すような提言を作ります。

<2020年度結果>

- ・ （一社）未来技術推進協会が開発したSDGsボードゲームの京都版の作成にあたり，協会が持つ情報の提供や大学生からの提案を集めるなど協力を行いました。次年度以降は，このボードゲームを協会事業の様々な場面で活用していく予定です。
- ・ 京のアジェンダ21フォーラムとして「地球温暖化対策条例の改正骨子（案）」に関する意見及び「京都市地球温暖化対策計画<2021-2030>（案）」への意見書を提出しました。

#### イ 再生可能エネルギーの普及拡大・省エネルギーの推進（1702）※京都市委託事業

- ・ 京エコロジーセンターを再生可能エネルギー100%にする取組を進め，これをケーススタディとして，建物や事業活動において使用するエネルギーを，再生可能エネルギー100%とすることを目指すために必要となる情報の提供や環境整備について提案等を行います。
- ・ 京都市主催の「再生可能エネルギー講習会」等を活用し，再生可能エネルギー設備の導入を進めるための意見交換及び課題解決に向けた対策提案を行います。

<2020年度結果>

- ・ 協会として「再エネ100宣言 RE Action」へ参加した上で、モデルケースとして、京都市の施設で、協会が指定管理者である京エコロジーセンターにおいて使用する電気を再生可能エネルギー100%にするための取組及び市内の事業者への普及に必要な提案について、京のアジェンダ21フォーラム再生可能エネルギーワーキンググループの事務局会議の中で検討を行いました。
- ・ 京エコロジーセンターの電力契約を再生可能エネルギー100%へ切り替え、再エネ100%を達成したことの情報提供として、京エコロジーセンターにおいて企画展とミニセミナーを実施しました。

ウ 企業等による環境活動促進・支援（1703）※京都市委託事業

- ・ 京都市内の各地域における事業者、学校、住民が「環境保全活動」をキーワードに、協力し合いながら取り組む仕組みづくりを目指した活動を充実させるための支援を行います。
- ・ 事業者等を対象に、CSR活動を進めるためのセミナー等を開催します。

<2020年度結果>

- ・ 複数の企業等がチームを作って環境保全活動を行う「京都環境コミュニティ活動(KESC)」として、里山保全チームは、明德小学校の学校林「わきの山」における里山保全活動として、チマキザサの保全作業などを行いました。環境エネルギーチーム及び環境かみしばい学習チームは、新型コロナウイルス感染症対策のため、活動を実施できませんでした。
- ・ 事業者向けに、KESCのようなCSR活動を進める意義や効果などを広めるためのセミナーに代わる企画として、KESC参加企業におけるCSR活動の状況や意向をアンケートで確認した上で、相互に交流する情報交流会を開催しました。企業にとっては、新型コロナウイルス感染症対策により、活動の実施が困難な状況にある上、今後の見通しもなかなか立たない状況が共有できました。

エ 観光のエコ化の推進（1704）※地球環境基金助成金（2年目）

- ・ 京都各地の観光における環境負荷を低減し、住民も観光客もより過ごしやすく地域の持続可能性を高めるような取組を提案するほか、全国の観光でのエコ化に関する情報交換の機会を持つなどの取組を行います。

<2020年度結果>

- ・ 「プラスチックごみ削減活動を通じた住民と観光客の持続可能な共存」として地球環境基金の2年目の助成を受けましたが、7月の祇園祭では露店の出店がありませんでした。そこで、大学生を中心としたリーダーの活動や全国の祭りやイベントでのごみ削減策事例について調査、嵐山商店街でのリユース食器導入に向けての調査・調整などを行いました。
- ・ 今後の持続可能な観光のあり方を考える機会として、オンラインセミナー『京都から考えるポストコロナの観光と都市の「かたち」』を実施しました。

## オ 2050年までのCO<sub>2</sub>排出量正味ゼロの実現に向けた多様な主体による取組（1705）

※京都市委託事業

- ・ 京都市における2050年までのCO<sub>2</sub>排出量正味ゼロの実現に向け、多様な主体による取組実践を進めるため、気候危機の現状や脱炭素化に資する取組、仕組み、制度等に関する情報の発信や、実現について考えるワークショップの開催等を行います。

<2020年度結果>

- ・ 北海道札幌市での「気候市民会議」の事例について学ぶ機会を持ったうえで、京都市地球温暖化対策条例の改正骨子案へのパブリックコメントの時期に合わせ、これまでに仕事等で地球温暖化問題に直接関わっていない一般市民など多様な市民によるワークショップを実施しました。
- ・ 京都市地球温暖化対策計画<2021-2030>（案）へのパブリックコメントの時期に合わせ、大学生を対象にワークショップを実施しました。
- ・ 上記の機会に、京都市から提供された情報を広く市民等に提供するため、4本の動画を作成し、公開しました。

## カ 環境情報等の発信と共有（1706）※自主事業

- ・ 会員をはじめ、市民、事業者などに対して、世界の動きや「京のアジェンダ21」の推進について広く情報発信を行うため、季刊誌を発行する他、ホームページ等の運営、SNSの活用、メールマガジンの配信などを行います。

<2020年度結果>

- ・ 11月に情報誌「あじえんだ」を発行したほか、毎月初めにメールマガジン「京えこめる」の配信やホームページ、Facebook、Twitterでの情報発信を随時行いました。

## キ 他団体との協力事業の実施（1707）※自主事業

- ・ 企業等の事業所に呼びかけて、京都の文化にゆかりのある希少になりつつある植物の育成や、生物多様性に配慮した敷地内緑化、地域の生物多様性保全活動への参加などの取組を広げる活動を関係団体等と協力して行います。
- ・ 京のアジェンダ21フォーラムのプラットフォーム機能を発揮し、京エコロジーセンターや京都市ごみ減量推進会議とも連携しながら、市民、事業者、行政等の参加と協働を促進するため、市民団体・事業者等との交流事業、共催事業を企画・実施するとともに、他団体の主催事業にも必要に応じて参画します。

<2020年度結果>

- ・ 企業等による生物多様性活動として「KESエコロジカルネットワーク」の事務局を担っており、257事業所が参加しました。今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、説明会と希少植物の育成講習会は中止し、WEB上での資料配布等を行いました。また、例年開催してきた「藤袴と和の花展」が中止されたことから、オンラインで各参加事業所の活動がわかるようなサイトを開設しました。

- ・ 京都伝統文化の森推進協議会主催の「キクタニギクの咲く菊溪の森づくり」でのキクタニギクの苗の提供を呼びかけ、植栽行事にも複数の事業所が参加しました。
- ・ 京都雨庭研究会へ参加し、この研究会として「グリーンインフラ ネットワーク ジャパン2020ミーティング」へ参加しました。

#### 【4】講師派遣事業（事業番号1401）

##### 1401 講師派遣・講座の企画実施（セミナー・研修・イベント等）

外部でのセミナーやシンポジウム等に職員を派遣し、環境教育、環境学習施設運営やボランティアコーディネーション、SDGsやごみ減量等をテーマとした講演や事例発表を行います。また、依頼元の要望にあわせた出前講座、セミナーやワークショップの企画実施を通して、他団体による環境活動の支援を行います。

<2020年度結果>

- ・ セミナーやシンポジウムに職員を派遣し、環境学習施設運営や市民参画・ボランティアコーディネーションについての講演や事例発表を行いました。
- ・ 依頼元の要望にあわせた出前講座やワークショップの企画実施などを通して、他団体による環境活動を支援しています。

実施日	事業名	主催
10月10日 10月11日	「ボランティアコーディネーション力検定」直前研修（大阪会場）にかかる講師派遣	日本ボランティアコーディネーター協会
11月2日	大同生命保険株式会社社内会議「SDGSの達成に向けて～今、我々ができること～」	大同生命京都支社

#### 【5】調査・研究・開発・発信事業（事業番号1501～1502）

##### 1501 これまで蓄積してきたノウハウのソーシャル・ビジネス化

京エコロジーセンター・京都市ごみ減量推進会議・京のアジェンダ21フォーラム等、協会の取組を通してこれまで蓄積してきた、施設運営・環境教育・ボランティア育成及びマネジメント・NPOや地域活動支援のノウハウ、ごみ減量や再生可能エネルギーの推進に関するコンサルティングや資源の提供をソーシャル・ビジネスとして展開するための調査・研究・開発・発信を行い、協会の将来展望を開きます。

<2020年度結果>

◇学会等での協会事業の発信実績

実施日	事業名	主催
8月22日 8月23日	日本環境教育学会第31回年次大会「新型コロナウイルスに対応した環境教育の可能性ーオンライン技術の活用方法を探る」における京エコロジーセンターの取組事例報告（口頭発表）	日本環境教育学会

9月26日	ICOM 京都大会 1周年記念シンポジウム「SDGs と博物館」パネルディスカッションへのパネリスト登壇	ICOM 日本委員会, 日本博物館協会, 京都国立博物館
9月18日	廃棄物資源循環学会・環境学習施設研究部会「環境学習フォーラム～施設のコロナ感染対策～」での事例紹介	廃棄物資源循環学会
12月14日	GCP ワークショップ「ゼロカーボン×デジタル：ポストコロナ時代の都市の脱炭素」パネルディスカッションへの登壇	グローバル・カーボン・プロジェクト (GCP)つくば国際オフィス, フューチャー・アース日本ハブ, 広島大学, アジア太平洋地球変動研究ネットワーク (APN)
12月2～12日	清里ミーティング 2020 でのオンラインセッション参加	公益社団法人日本環境教育フォーラム
12月20日～2月28日	「京都環境フェスティバル 2020」団体取組紹介 (オンラインブース展示)	京都環境フェスティバル実行委員会
2月1日～2月21日	「第28回ワン・ワールド・フェスティバル オンラインウィーク」出展	ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会

◇研究会・実行委員会等への参画実績

実施日	事業名	主催
通年	ボランティアコーディネーション力検定試験委員会への参画	特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会

【プロモーション・ファンドレイジング】

2019年度に整理を行った組織基盤強化にかかる寄付の受入体制の整備や人材育成のための評価・研修制度の整備等の2020年度に実施すべきタスクについて、協会の各課の代表者により構成されるタスクチームを中心に検討し、取組を進めていきます。

<2020年度結果>

- ・ 協会の組織基盤を固め、持続可能な運営体制を築くため、外部の専門家を交えた戦略会議を行っています。昨年度までの協会の現状と課題の分析及び整理を踏まえ、今年度からは会員・寄付受付制度の整備及び募集の際のコミュニケーションの方法・体制などについて具体的に検討する「ファンドレイジング・コミュニケーションタスクチーム（各課より1名以上がメンバーとして参加）」、職員の人材育成やそれに伴う人事評価等について具体的に検討する「人材育成タスクチーム（各課の管理職がメンバーとして参加）」を設置し、引き続き外部専門家の客観的な視点でのアドバイスを受けながら、協会の組織基盤強化につながる制度、体制等について協議しました。

1502 ESD-SDGs事業 ※文科省補助事業（2年目）

2018年度ESDユース・ネットワーク作業部会の協議を基に、2019年度に実施した文部科学省・ユネスコ活動費補助金（SDGs達成の担い手育成（ESD）推進事業）を継続

させ、SDGsやESDに興味関心のあるユース(大学生)に、実践的な学習プログラムを提供するとともに、組織を越えてつながり、活動内容を進化させることができるネットワークを構築します。

<2020年度結果>

- ・ 文部科学省「令和2(2020)年度ユネスコ活動費補助金 SDGs達成の担い手育成(ESD)推進事業」に採択され、「京都・関西SDGsネットワークーみやこKAMADOKIプログラム実行委員会」を実施主体として、主に大学生・大学院生を対象にしたプログラムを実施しました。

開催日	プログラム名	会場	参加人数
8月23日	みやこ KAMADOKI プログラムキックオフイベント 「千年続く京、変わる京。#SDGs with コロナ」	オンライン	34
8月29日	SDGs スタジオ「SDGs レクチャー」	オンライン	3
9月5日	SDGs スタジオ「取材・記事作成の大切さ 取材から発信までの手順を知る」	オンライン	4
9月19日	SDGs スタジオ「伝わるやすい記事を知る 記事の添削・修正」	オンライン	7
9月20日	SDGs シンカゼミ「SDGs を活用した活動整理術」 ー取り組みを“まがいもの”にしないー	オンライン	14
9月23日	SDGs アクトオリエンテーション	京エコロジーセンター	15
10月9日	SDGs スタジオ成果報告会(ポスター発表)	オンライン	280
10月14日	SDGs シンカゼミ「ストーリーを伝える」ーだれもが主役になれるプレゼンのコツー	オンライン	7
10月25日	SDGs シンカゼミ「自分の可能性を見つける」ー内発的動機を見つけようー	オンライン	10
11月1日	SDGs アクト企画提案発表会	オンライン	26
2月6日	ステークホルダー交流会	オンライン	16

### 1503 省エネ家電買替促進事業 ※京都市委託事業

家庭での省エネ行動を活性化させるため、家庭で使用するエネルギー量の高い家電の買い替えに着目したキャンペーンを実施します。※別団体へ委託されたため、未実施。

### 1504 再エネ最大化アクション事業 ※京都市委託事業

再生可能エネルギーの普及拡大のため、設置者と事業者を結びつけるような取組や、再エネ由来の電力利用を拡大していくような取組を行います。

<2020年度結果>

- ・ 太陽光パネルの設置が可能な屋根に関するデータの整備と事業採算性を考慮した発電事業の可能性を調査するとともに、屋根の施設所有者と発電事業者をマッチングする仕組みを立ち上げ、地域分散型エネルギーの導入を推進させることを目的とした事業を行

っています。

- ・ 市内事業者を対象としたアンケート調査を行った上で、9月に事業者向けセミナーを開催しました。
- ・ 10月にポータルサイト「京都市太陽光発電プラットフォーム」を開設し、「0円ソーラー」事業のマッチングを進めました。

## II 収益事業

### 5101 施設の使用許可及び公金徴収事務

京エコロジーセンターでは、会議室等の貸し出しを行っており、利用できるスペースは会議室2、視聴覚室(シアター)、リサイクル工房(実習室A)、エコ厨房(実習室B)が各1となっています。京エコロジーセンターの認知度を上げるための効果的な広報等に取り組み、来館者数、利用率の向上を図ります。

<2020年度結果>

- ・ 4月8日(水)午後5時から5月17日(日)まで臨時休館し、同時に会議室などの貸出も中止しました。その後は、新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで貸出を再開しましたが、感染収束が見通せない状況の中、利用回数、利用者数ともに大幅に減少しました。

利用回数	利用者数	使用料金合計
307回 (486回)	2,397人 (5,998人)	848,500円 (1,395,340円)

※使用料金は全額京都市の収入となります。

※3月末までの開館日数は、279日です。( )は昨年度の実績

## III その他事業(相互扶助等事業)

### 6101 秘密書類リサイクル事業

本事業は紙のリサイクルを一層推し進めるため、個人情報や機密情報が外部に漏れないよう保持したまま、溶解処理により段ボール板紙に再生するものです。

この事業は京都市ごみ減量推進会議会員へのサービスとして実施し、収集運搬は専ら物として古紙を扱う事業者組合へ入札により委託します。

<2020年度結果>

- ・ 民間事業者の参加が年々増えるのに伴い、重量の少ない回収の割合が増えています。ほぼフル稼働の状況となっているため、委託先事業者・参加事業者双方のニーズを調整しながら、運営方法の見直しなどを進めています。

◇回収実績（単位：上段kg・下段円 50銭/kg）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	半期 小計	
京都市	52,480	73,530	76,500	74,970	48,010	83,670	409,160	
	26,240	36,765	38,250	37,485	24,005	41,835	204,580	
民間等	31,710	19,160	11,800	20,810	14,820	5,940	104,240	
	15,855	9,580	5,900	10,405	7,410	2,970	52,120	
合 計	84,190	92,690	88,300	95,780	62,830	89,610	519,400	
	42,095	46,345	44,150	47,890	31,415	44,805	256,700	

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	延べ利用 部 課 数
京都市	69,770	50,090	53,800	58,340	63,050	80,080	784,290	172
	34,885	25,045	26,900	29,170	31,525	40,040	392,145	(168)
民間等	4,170	29,910	16,900	12,110	11,160	9,410	187,900	108
	2,085	14,955	8,450	6,055	5,580	4,705	93,950	(115)
合 計	73,940	80,000	70,700	70,450	74,210	89,490	972,190	280
	36,970	40,000	35,350	35,225	37,105	44,745	486,095	(283)

※回収重量：前年度同期比 90.36%（前年度同期 1,075,920 kg），延べ利用部課数の（ ）内は前年度の数

#### IV 附属明細書

2020年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2021年5月

公益財団法人 京都市環境保全活動推進協会

～一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則（抄）～

第34条 事業報告

3 事業報告の附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項をその内容としなければならない。